坂町病院だより

第5号
2015年4月発行

新潟県立坂町病院
〒959-3193 村上市下鍛冶屋589番地
TEL.0254-62-3111　FAX.0254-62-5431
http://www.iwafune.ne.jp/~sakamachi-hosp/

「地域住民に親しまれ信頼される病院」を目指し、当院から地域の方々に健康に関する様々な情報などを提供していくため、「坂町病院だより」を発行しています。

小児アレルギーのトピックス topics

坂町病院 小児科　今田　研生

昨今の小児アレルギーの話題で最も関心を持たれているものの一つに食物アレルギーがあります。2012年12月の東京での誤食事件以来、新聞紙上にも関連した記事が良く見られますし、テレビ番組にも取り上げられることが多くなっている印象があります。それは、食物アレルギーに対する考え方が変わりつつあることもその背景にあるからかも知れません。

食物アレルギーがあれば、今までは原因食物として少しでも疑われるものは原則除去や制限が指導されていましたが、最近では食物の除去は必要最小限として原因食物を適量摂取していくべきであるという方針に変わってきています。数年前までは、皮膚症状が強くて食物アレルギーが疑われる場合には、まず血液でIgE抗体検査を実施してクラス２以上の陽性ならばその原因食物の除去を指導することが一般的でした。

しかし、血液検査での抗体価が高くても症状が必ずしも出ないことも多く、それは経口摂取した食物が消化管における免疫細胞の働きによって過剰なアレルギー反応をしなくなる仕組み（免疫寛容）があるためです。そこで、食物アレルギーがある患者さんでもこの免疫寛容を促すために、症状が出ない範囲内で少量の食物の摂取をしたほうが良いという考え方が出てきたのです。但し、どのようなアレルギー児にどのように摂取していくかという決まった指導法は今のところ無いのが実情です。それは患児によって、また原因食物によっても安全な摂取量が一定ではないからです。

そこで、この安全な摂取量を決めるために原因食物毎に経口負荷試験を実施することがあります。１～２種類の食物が原因であれば実施は容易ですが、多くの種類の食物にアレルギーのある小児ではその一つ一つに負荷試験を実施することは手間がかかります。

さらには軽症例のすべてに経口負荷試験を行なうことは現実的でないため、負荷試験は実施しないで自宅で少量から摂取するという指導法がなされる場合があります。但し、日常生活上で誤って加工品などを食べても無症状だった例などに限ります。しかし、この場合でも、自宅でアナフィラキシーなどの強いアレルギー反応を起こしてしまうというリスクがまったく無い訳ではありません。その危険性を保護者の方に良く説明して納得していただいた上で実施する必要があります。

また、そもそも経口負荷試験自体にもアナフィラキシーなどの重篤な症状が起きるリスクは常に存在するので、本当に必要な患者に限定して実施するべきであることは言うまでもありません。現在、安全に実施できる免疫寛容の獲得法が多くのアレルギー専門家によって研究されていますので、将来的にはさらに食物アレルギーの治療法が発展することが期待されています。

県立坂町病院
おりがみアートの取り組み

坂町病院には、院内を横断的に活動するスタッフがいます。平成26年度は、「病院の顔である玄関からエントランス周辺を明るく癒しの空間にしよう」と、日本人に馴染みのあるおりがみで患者さんに季節感を届けようと1年間活動してきました。2ヶ月に１回のペースで５月末に梅雨の時期をイメージしたあじさいやかえる・おたまじゃくしなどのおりがみを初めて掲示しました。

7月末にひまわりの花を中心に夏の飾り付け、9月末はハローウイン、11月末にはクリスマス、1月は新春を意識し羽根突きやコマまわしと節分、2月末はお雛さまやチューリップとそれぞれの季節感を表現し活動してきました。

患者さんからは、「明るい雰囲気になった」、「次はどんな飾りになるかいつも楽しみにしています」、「折り方も教えてもらいたい」、「待っている間に楽しませてもらっています」などお話を頂いています。夜勤をする看護職員から「寒い中、夜勤に出てくる時、折り紙アートに癒される」「忙しい中ホッとする」などの声も聞かれています。

おりがみアートを実施していく中で、各職場のスタッフから昼休みの時間を活用し、楽しみながらおりがみを折ることに協力してもらいました。また家庭で子供と過ごす時間に親子でおりがみを折ってくれた職員やリハビリを行っている患者さんからもリハビリの一つとして折っていただいたこともありました。

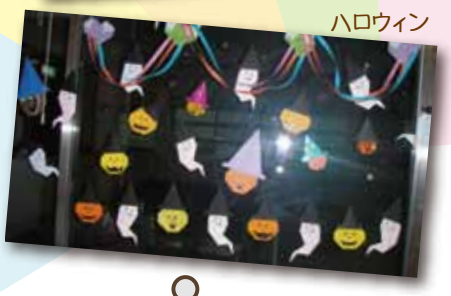
「病院の顔である玄関からエントランス周辺を明るく癒しの空間にしよう」と、坂町病院おりがみアートの取り組みは始まったばかりです。おりがみアートを通し、患者さんにも喜んでいただけ、折っている私たちも楽しく、取り組みを継続する喜びも実感しています。この一年間、本当に折り紙アートにご協力して下さった多くの方に感謝いたします。次年度も継続して行く予定です。どのようなおりがみアートになるのか興味を持って楽しんでいただけたら幸いです。

接遇・教育トレーナー

節分

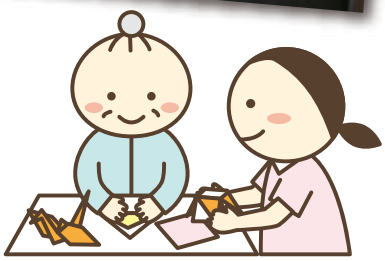
ひなまつり

ハロウィン



クリスマス

あじさい



職場紹介　栄養課

坂町病院　栄養課長　横山　麻子

栄養課は、管理栄養士2人、調理師6人、臨時・パートが6人の計13人で構成されています。私たちは、入院患者さんの病状が改善し元気になって退院していただくために、様々なサービスを行い看護師と相談しながら栄養を考えています。外来患者さんには、病気のコントロールが改善に向かうよう、栄養指導を行っています。こんな私たちの職場を紹介したいと思います。

管理栄養士は、病気別に栄養指導を行います。実際の食生活を見直し、改善すべき点を見出し、快方に向かうよう一緒に考えます。食事療法というと、「制限」と思われる方が多いですが、けっしてそんなことはありません。もちろん多少の我慢は必要ですが、その方の生活に合わせてお話していきます。例えば、減塩という言葉を耳にしたことがあると思います。醤油や味噌の量を減らしている家庭が多くなっていますが、「漬物がないとごはんが食べられない」とか「味噌汁は毎食飲む」と実は減塩になっていないということもあります。こういう場合は、「1日1回にしませんか」という指導になります。新潟県では食塩を1日1g減らすことを目標に「減塩ルネサンス」運動を行っています。高血圧や心不全の方には有効ですので、心がけて下さい。病院食の献立を考えることも管理栄養士の仕事です。制限のない食事から、病気別の献立、飲み込みが悪い患者さんやアレルギーの献立等約20種類の献立をたてています。それぞれに使える食材も異なり、栄養の指示も異なります。「病院の食事は、治療の一環である」という基本に基づき、安全でおいしい食事つくりを心がけています。

そのおいしい食事を作るのが調理師です。病院の調理師は、病院専門調理師の資格を持ち、病態を理解し調理しています。近年は誤嚥性肺炎が多く、食事上の注意も増え、病院給食でも飲み込みが上手にできない患者さんの食事対応が増えてきています。日々勉強、研究しています。また、安心して召し上がっていただけるよう、調理担当者をお知らせしています。さて、患者さんの食事はどのように運ばれると思いますか？温冷配膳車といい、温かい食事は温かく、冷たい食事は冷たく仕切られ運ばれます。夏場は熱すぎ？なんてこともあるようですが、温かいものを食べるとホッとしますよね。病院食は、食べたい時に食べられるものではありません。入院しないと食べられません。もしも食事を召し上がる機会が訪れた時は、日々管理栄養士と調理師がみなさんの回復を願って食事を作っていることを、思い出してください。

健康ナイトスクール【なんじだね】開催報告

3月4日に健康ナイトスクール【なんじだね】を荒川地区公民館で開催しました。当日は風も強く生憎の悪天候でしたが、多くの方々からご出席頂きました。

このスクールは坂町病院の医師等、医療従事者から荒川地区の住民の皆様に医療情報・健康情報を発信する事により、地域の方の健康増進・介護予防等を促進するために、昨年から行っています。

冒頭、会田健次あらかわ地区まちづくり協議会理事長からご挨拶頂き、鈴木薫院長から『坂町病院の目指すもの』として、地域に必要な医療を提供し、医療を通じて地域に貢献する事。可能な限り患者さんや家族の便宜を図る事。などの思いを語り、併せて地域の皆様へのご協力をお願いした後、当院の五十嵐仁内科部長、小泉健内科医長、二人の医師によるミニ講演を行いました。

五十嵐内科部長

小泉内科医長

五十嵐医師の『進歩する糖尿病医療と坂町病院での取り組み』では、糖尿病患者の増加に伴い近年では、腎臓病から人工透析になるケースより糖尿病由来の透析患者が増加している現状と糖尿病の予防方法等をお話し、当院の透析予防外来の紹介を行いました。

小泉医師の『感染症対策について』では、結核、インフルエンザ、ノロウイルス等感染症の現況と対策についてお話し、肺炎球菌ワクチン接種に関する情報提供を行ないました。

坂町病院は地域の皆様の健康促進のために今後も講演会を通して様々な医療情報を発信していきますので、機会が有りましたら是非ご参加下さい。

外来診療のご案内

外来診療等担当医師一覧

平成27年4月1日現在

階			月	火	水	木	金
1階	内科	1診	総合診療外来 近 幸吉　小泉 健 交替で診療 午前のみ	田邊 靖貴 杉山 幹也 14:00～ 【肝臓】 再来予約のみ	関根 輝夫 午前のみ	丹呉 益夫 小泉 健14:00～ 再来予約のみ	小泉 健 午前のみ
		2診	鈴木 薫 第1週　鈴木 ペースメーカー 外来	小泉 健	鈴木 薫 安斎 博隆 13:30～ 【消化管】 再来予約のみ	鈴木 薫	鈴木 薫
		3診	新潟大学【循環器】 午前のみ	近 幸吉 10:30～	近 幸吉	近 幸吉 10:00～ 五十嵐　仁	新潟大学【循環器】 午前のみ
		4診	五十嵐 仁 午前のみ	姉﨑 一弥 午前のみ	五十嵐 仁 10:00～	五十嵐 仁 13:10～ 糖尿病透析予防外来 再来予約のみ	姉﨑 一弥 午前のみ
		5診（場所は眼科）				小泉 健 午前のみ	
	フットケア外来			予約のみ		予約のみ	
	神経内科		新井 亜希	新井 亜希			新井 亜希
	外科	1診	新潟大学 10:00～	佐藤 良平	冨田 広	佐藤 良平	冨田 広
		2診	冨田･佐藤(予約及び紹介のみ)	冨田 広	佐藤 良平	冨田 広	
		ストーマ外来			第2・4週 冨田		
	整形外科					第1･3･5週 遠山 知香子 第2週 渡部和敏(新発田病院) 第4週 堂前洋一郎(新発田病院)	
	眼科			上田 潤 受付11:00まで	羽入 貴子(新潟大学)		
2階	小児科	1診	今田 研生	今田 研生	今田 研生	今田 研生	今田 研生
		2診	石塚 利江	石塚 利江	石塚 利江	石塚 利江	石塚 利江
		午後 乳児健診13:30～		第1週　今田 研生 第3週　石塚 利江			
		午後 喘息外来13:30～			今田 研生		
		午後 神経外来13:30～		第2週　石塚 利江			
		午後 予防接種13:30～				第1・2週 石塚 利江 第3・4週 今田 研生	
	産婦人科（午後）		第2､4週 新潟大学				奇数週 新発田病院 偶数週 新潟大学
	耳鼻咽喉科（午後）		新潟大学		新潟大学		新潟大学
	皮膚科		丸山 涼子 (新潟大学)				酒井 あかり (新潟大学)
	泌尿器科				新潟大学		新潟大学
	歯科（日本歯科大学）		口腔外科 (抜歯)	補綴Ⅰ (義歯)	補綴Ⅱ (歯冠修復)	保存Ⅱ (歯冠修復) (歯周病治療)	保存Ⅰ (歯内療法)
※	人間ドック		鈴木 薫		関根 輝夫	丹呉 益夫	小泉 健

受付時間　8:00～11:30まで

- ○内　　科　新患のみ受付：月曜日は１診・４診、火～金曜日は１診
  その他の外来：再診専門
  消化器外来は、火曜日、水曜日、金曜日とも再診のみで全て予約
- ○神経内科　全て予約制で、紹介状が必要
- ○外　　科　月曜日：10:00から診療
  乳腺外来は、第４木曜日再診のみで全て予約
- ○整形外科　受付は8:00～10:30まで
- ○眼　　科　火曜日：手術のため受付は８:00～11:00まで
- ○産婦人科　再診、紹介患者、当院で一次検診を受診した要精密検査者のみで全て予約
- ○耳鼻咽喉科　月・水・金曜日：12:00～15:30まで
- ○歯　　科　初診・新患は月曜午前のみ（口腔外科）　その他は再診予約

受付方法　初めての方､診察券をお持ちでない方は､申込み用紙を記入して受付１番窓口へ保険証を添えてお出しください。
診察券をお持ちの方は､保険証と診察券を受付１番窓口へお出しください。

予約方法　予約の方は直接予約科へ､予約以外にも受診したい科がある時は受付１番窓口へお申し出ください。
予約の変更をしたい時は、なるべく午後から診療科へ直接電話でご相談ください。

医療相談　当院には、医療相談室があります。各種申請・施設利用希望など、気軽に何でもご相談ください。
詳しくは、受付窓口にご相談ください。

患者さんの声　より良い医療サービスを提供できますよう、患者様等から多くのご意見をお寄せ頂くため、会計窓口・各病棟の４個所に『患者さんの声』の投書箱を設置しております。日頃感じられる事など、ご意見をお寄せください。

専門外来　ストーマ外来、フットケア外来、透析予防外来
詳しくは、ストーマ外来：外科、フットケア・透析外来：内科　にご相談ください。